

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その1）

河川名	多々羅川	事業名	広域河川改修事業	事業区間	徳島市新浜本町～勝占町	
再評価の実施理由		再評価実施後5年が経過しており、事業の必要性・効率性を再度評価する必要がある。				
未着工或いは事業が長期間要している理由			事業には着手しているが、一連区間を改修する事業計画規模であり、長期の事業期間を必要とするため。			
事業内容	事業目的	河積の拡大、河川線形の是正、築堤護岸により洪水被害の軽減を図る。				
	事業実施内容	全体計画延長L=4,560m 築堤23,300m ³ 、掘削 260,000m ³ 、護岸 6,400m、堰1基、樋門樋管2基、道路橋6橋				
	目標流量	115 m ³ /s	治水安全度（当該事業目標）		1/10	
事業の進捗状況	事業採択年	S54	工事着手年	S55	完成目標年 H33	
	全体事業費（内用地費）	70.0 億円 40.0 億円	投資事業費（内用地費）	45.7 億円（進捗率 65%） 30.0 億円（進捗率 75%）		
	事業進捗状況	全体改修延長4,560mのうち、約3,100mが完了している。				
	一連の整備効果の発現状況	改修済区間では浸水被害が軽減され、地域開発が進んでいる。				
事業を巡る社会情勢等の変化	事業目的に関する諸状況	現状での課題	現況河道断面の疎通能力は極めて小さく、上流域では度々浸水被害をうけている状況である。河積を拡大し浸水被害の軽減を図る必要がある。			
		災害発生時の影響（想定氾濫区域内）	（事業着手時点）※流域内資産は現状			
		①浸水戸数：352戸 ②浸水面積：66ha ③重要な公共施設等：道路（県道宮倉徳島線等）、大松小学校 ④災害弱者関連施設等：大松幼稚園、大松保育所、ありく乳児園				
		過去の災害実績	（S38～H22の水害統計、H16浸水痕跡マップ）			
		①被災頻度：S43, H2, H16 ②最大浸水戸数：床上56戸、床下49戸（平成16年台風23号） ③最大浸水面積：275ha（平成16年台風23号）				
		災害発生の危険度				
①改修目標流量に対する現況流下能力の割合：ブロック①76%、ブロック②17% ②現況の治水安全度：ブロック①1/5程度、ブロック②1/1程度						

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その2）

河川名	多々羅川	事業名	広域河川改修事業	事業区間	徳島市新浜本町～勝占町
続き	地域の状況	<p>①地域開発の状況 流域内には徳島市の市街地化区域があり、今後も開発が進むと予想される。</p> <p>②地域の協力体制 地権者からは用地の買い取り請求が出されている状況である。</p> <p>③関連事業との整合性の変化：特になし。</p> <p>④地域の事業に対する社会的評価 流域の開発が進み、治水安全度の向上を図るための地元住民からの改修要望が強い。</p>			
費用対効果分析	費用：	<p>総費用の算定は、以下に示すとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 全体事業費のうち執行済事業費は治水デフレーターで、残事業は将来の割引率(4%)を考慮して現在価値化したうえ積算した。 建設費 = 11,130 百万円 ・維持管理費 1年間当たりの維持管理費について、施設完成までと施設完成後(50年間)を対象に将来の割引率(4%)を考慮して現在価値化したうえ積算した。 維持管理費 = 549 百万円 ・総費用 総事業費+維持管理費で算出した。 総費用 = 11,130 + 549 = 11,679 百万円 			
	効果：	<p>総便益の算定は、以下に示すとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・純便益 事業完成までの9年間(平成25年～平成33年)の便益はゼロとした。事業後の便益は、改修によって見込まれる年平均被害軽減期待額(2,396百万円)を、事業完成後50年間(平成34年～平成83年)にわたり現在価値化して積算した。 純便益 = 37,610 百万円 ・残存価値 評価対象期間終了時点における構造物と用地の残存価値を現在価値化して積算した。 残存価値 = 98 百万円 ・総便益 純便益+残存価値で算出した。 総便益 = 37,610 + 98 = 37,708 百万円 			
	費用対効果分析の結果	<p>費用便益比 $B/C = 37,708/11,679 = 3.23$ (全体事業)</p> <p>費用便益比 $B/C = 37,708/2,674 = 14.10$ (残事業)</p> <p><感度分析結果></p> <p>残事業費：$B/C = 3.17$ (+10%の場合)、$B/C = 3.29$ (-10%の場合)</p> <p>残工期：$B/C = 3.12$ (+10%の場合)、$B/C = 3.34$ (-10%の場合)</p> <p>資産：$B/C = 3.53$ (+10%の場合)、$B/C = 2.93$ (-10%の場合)</p>			